



八潮市長 大山しのぶ 風

ニュースレター

■大山しのぶ事務所
埼玉県八潮市八潮2-18-8
パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000
FAX.048-994-6001

■最新情報はホームページで
<http://www.s-oyama.jp/>

編集・発行 / やしおママ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000

2019年

年頭所感

着々と重要プロジェクト 進行中！ 八潮の新しい 姿が見えてくる…



2019年が始まりました。本年が皆様にとりまして輝かしい年となりますこと、心から祈念しています。

災害が多かった2018年を振り返り… 地域のつながりを防災に活かす！

さて、昨年は災害が多い年でした。大阪府北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、台風21号では関東が大規模浸水し、台風24号では広範囲の地域で塩害が発生しました。その中で八潮市は台風の直撃もなく、災害被害が少ない都市というイメージを強くしています。しかし、本年はこういった災害への備えの考え方を、さらに変えなくてはならないと思っています。

私が考えているのは、現在の市の防災計画に加えて、町会・自治会ごとに個別の地区防災計画をつくることです。地域の方が地域の内情のことを一番ご存じです。隣のおばあちゃんは足が悪い、あちらは小さいお子さんがいる、あそこは昼間はお父さんお母さんが都内に働きに行って不在だ…。そういった生きた情報を活かし、そこからどうやって防災の力に変えていくかということ、大きなポイントとして実現させていきたいと考えています。

自助・共助・公助… 自助の重要性の再認識を

そこで必要なことは、皆様の防災意識を変えていくことです。「いざとなれば行政が助けてくれる」。それが念頭にあるようでは困ります。災害が起これば市役所も市の職員も被災します。行政による救助活動や支援物資の提供など、公的支援、いわゆる公助が届くまで、3日かかるのか、一週間かかるのか、この期間をいかに乗り越えていくのかということです。まず自分の身を自分で守ることを考えてもらわないとならない。自分

の身を守れない人は、家族も守れない、周りを助けられない。そこで初めて地域の中で共助という力が働く。その後に公助として、市も県も、国、警察も自衛隊も総力を挙げて救援に入る。この災害への備えと防災意識を高めるため、今年は様々な機会をとらえて皆様と意見交換し、先に申し上げた地域のつながりを活かしたきめ細やかな防災計画を新たに進めていきたいと思っています。

亥年は歴史上、天災の多い年のようです。古くは1707年富士山の宝永大噴火、1923年関東大震災、1947年カスリーン台風による利根川氾濫、1995年阪神淡路大震災…。一年の計は元旦にありの言葉どおり、皆様とともに防災を考えたいと思っています。

いよいよ動き出す新庁舎の建て替え まちづくりの在り方を問い直す

さらに本年は、私が市長就任以来、取り組んでいるアセットマネジメントの一環で、庁舎の建て替えが大きく動き出します。これからの役所というものは、市民サービスの業務だけを行う施設ではなく、市民との協働ができる場があり、お年寄りが通える、子育ての相談がダイレクトでできる、そういった総合的な要素が必要になってくると思います。

八潮市は昨年6月1日に人口9万人を突破しましたが、日本の人口が減っている中で、八潮だけが今後も増え続ける理由はありません。人口が減った時にも使える

ような、多機能なフレキシブルさを取り込んだ設計が必要だと思っています。また、IoTやAIなどの技術革新が進めば、働き方もさらに変わり、行政に対する新たなニーズが生まれる可能性もあります。長きにわたって、市民の皆様安心して利用していただき、サービスを提供できる施設としての機能が求められます。

20年後30年後を見据えて、つくって良かったと思えるようにするのが、今年の大仕事となります。これはまちづくりのあり方を問うような大きな視野からのプロジェクトにもなってくると思います。

今年は2期目の折り返し地点 新しい八潮に向け、全力を尽くす

本年は市長としての2期目の折り返しの時期に入ります。1期目に定めた「第5次八潮市総合計画」も4年目を迎え、成果も含め見直しをしていく時です。

安心・安全、健康、子育て、教育、福祉、環境、そして市役所改革…。これまでの経験と皆様との意見交換の中から、八潮の新しい姿をつくり上げ、皆様に公表しながら、素晴らしい未来に向け、邁進して参る覚悟です。引き続き、皆様のご指導・ご支援をお願いいたします。

八潮市長 大山しのぶ

大山忍(おおやましのぶ)プロフィール

●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(61歳) ●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒 ●大学卒業後、機械メーカーでサラリーマン～国会議員秘書経験12年 ●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ ●平成12年、埼玉県議会議員に初当選(4期連続当選) ●平成25年9月8日の八潮市長選挙に立候補。1万9717票をいただき、八潮市長に初当選 ●平成29年9月3日、無投票で2期目当選



■八潮市民9万人突破を記念し、ご家族の方に認定状を授与



■オリンピック840日前イベントで



■姿勢づくりでオシャレに生きよう！～ファッションショーと体操のコラボ～



■市民大学で市長によるアセットマネジメントの特別授業

2018年 活動ダイジェスト

2期目も挑戦を続ける! 大山しのぶ市長

2018年は2017年9月に2期目の市長となった大山しのぶにとって、本格的な1年が始まった年でした。アセットマネジメントや子育て支援、健康づくり、シティセールスなどが着実に広がるとともに、防災面でも大学連携で特長ある施策が動き出しました。大山しのぶ市政の挑戦と前進の姿勢が実感できる1年でした。

いよいよ本格的に動き出すアセットマネジメント 取組に関する「庁舎建設基本構想」などが次々と決定

老朽化した公共施設の問題を解決するために昨年、決定された「八潮市公共施設マネジメントアクションプラン」。3月には、庁舎及びスポーツ施設の建替えに向け、「八潮市庁舎建設基本構想」と「八潮市新スポーツ施設整備基本構想」が取りまとめられました。

また、7月には「八潮市市有地活用基本方針」を策定し、市民共有の財産の適正な管理、活用について、未利用市有地および廃止を決定した公共施設の跡地に係る活用方法の基本的な事項を定めることができました。8月には「八潮市新庁舎複合・集約化方針」を策定し、保健センター(休日診療所含む)については、庁舎建替えの機会をとらえ、新庁舎に一体化あるいは同一敷地内に隣接することを決定。八潮市のアセットマネジメントが大きく進んでいます。



様々な機会をとらえて
市長自ら方針を説明

子育て支援、もっと使いやすく、きめ細やかに 民設民営の学童保育所、子育て相談室など新設

八潮駅周辺の住環境整備の進捗に伴う学童保育所入所児童の増加へ対応するため、学童保育所の設置・運営を行う事業者を公募し、提案事業者である特定非営利活動法人ちくみと、首都圏新都市鉄道株式会社との3者で連携し、八潮駅高架下に市内初の民設民営による学童保育所を整備しました。

また、10月には子育て世代包括支援センター「にじいろ子育て相談室」を保健センター内に開設しました。ここは子育ての重要な拠点の1つとして、専任の専門職を配置しており、妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じ、妊娠期から子育て期までを安心して送れるようにサポートします。産後のお母さんの授乳行為などに伴う心身の不安の解消のため、助産院や産婦人科などで受けられる指導やマッサージに係る費用の補助も始めました。保育環境の整備に向けては、昨年民間保育所に対して保育士用の宿舍借り上げ等に対する補助を行い、保育を支える人材の確保に力をつくすとともに、保育所の増設も進めています。



ちくみキッズクラブオープニングセレモニー

健康づくりの取り組みに埼玉県から「優秀賞」 健康マイレージも7月から開始

平成29年度に健康に関する優秀な取組を行った市町村を埼玉県が表彰する「健康長寿優秀市町村表彰」で優秀賞を受賞しました。平成27年度から実施していた「やしお毎日1万歩運動」が評価されたものです。

やしお毎日1万歩運動の発展形として、ウォーキングでポイントを獲得し、抽選で賞品が当たり、楽しく健康づくりができる埼玉県コバトン健康マイレージを7月から開始しました。



健康マイレージキックオフイベント

大学連携と防災の新たな成果として全国から注目! 八潮こども防災マイスター育成プロジェクトがスタート

国士舘大学との連携事業「八潮こども防災マイスター育成プロジェクト」がスタートしました。これは全国的にも珍しい取組として注目を集めました。市内小中学校から26人の児童・生徒が参加し、国士舘大学で防災や救急救命に関する講義を受講。9月には市独自の資格である「八潮こども防災マイスター」として認定されました。

今後、各校や地域における防災活動での活躍が期待されています。



八潮こども防災マイスター
育成プロジェクト報告会

八潮ブランドを充実、ガイドブックも発刊 シティセールスをさらに充実させる

市内で製造、生産された優れた製品を平成28年度から八潮ブランドとして認定しています。平成29年度は、有限会社菊水堂のポテトチップや蛙印染色工芸株式会社の灰汁発酵建藍染め製品など、新たに4製品を認定しました。

また、2月には、市の観光に関する情報を豊富に盛り込んだ観光ガイドブックである「るるぶ特別編集八潮市」を発行しました。

併せて、市全体の見どころやイベント情報などを掲載した「やしおポケットガイドマップ」を作製しました。



るるぶとポケットガイドマップ

防災、スポーツ振興、まちづくりに期待 笛吹市、株式会社西武ライオンズ、郵便局と協定締結

4月に山梨県笛吹市と、被災時の相互応援の迅速・円滑化を図り、市民の安全を確保することを目的として、災害時における相互応援協定を締結しました。

また、7月には、株式会社西武ライオンズと、スポーツ振興、青少年の健全育成、地域振興の3つを柱とする連携協力基本協定を締結しました。

さらに、11月には、草加郵便局及び市内7か所の郵便局と、郵便局のネットワークを生かした安全・安心なまちづくり等を進めるため、包括連携協定を締結しました。



笛吹市との災害時における相互応援に関する協定
株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定
郵便局との包括連携に関する協定

大山しのぶ
事務所

埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000 FAX.048-994-6001

最新情報は
WEBで!

ホームページ
公式ブログ
<http://www.s-oyama.jp/>
<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>